



NPO 法人 日本水治運動療法協会
理事長 水野 加寿 “シンポジウムテーマ” です

1. 今回の『“シンポジウム21” 水治運動療法を考える』の開催が同協会活動10年目の節目に当たり活動の集大成として“新たな人間力の創成”をテーマに「グローバル化と社会福祉健康ビジネスモデルの育成」を実践されると聞いています。その“新たな人間力の創成”の具現化についてお話し下さい。

1) “グローバル化”について

- ①スイスに本部のある IATF (International Aquatic Therapy Faculty) に日本支部としての支部登録申請をしています。
- ②「水治運動療法士養成講座テキスト」を発刊します。
- ③このテキスト発刊により「水治運動療法士」の学習システムが変わり、1年制の通信教育システムが導入されます。(カリキュラム・E-ラーニング・オンデマンド etc.)
- ④ライセンス(水治運動療法士)の認定及び発行が、IATF 日本支部に変わります。

2) “社会福祉健康ビジネスモデルの育成”について

- ①ビジネスモデル：プールリハビリモデル
 - (a) メインプールリハビリモデル
(15m以上のプールリハビリ導入ディサービス)
 - (b) 水流プールリハビリモデル
(10m以下の入浴運動リハビリ、小規模ディサービス)
 - (c) ケアプールリハビリ
(プールリハビリの導入している病院へのハウツー)
- ②『プールリハビリ』システムオブビジネス協会の設立
(フランチャイズシステムの確立)
 - (a) オーナーズミーティングの開催
日 時：平成26年11月22日(土) 18:00~20:00
会 場：東京プリンスホテル
会 費：3万円
尚、当日は“フランチャイズシステム”についての説明とフランチャイズリーダー校(各ブロックに1校の協会指定校：ブロック総括校)の推薦を実施します。

以 上



インチョン病院 Choi 先生の
“ シンポジウムテーマ ” です

1. 自己紹介を日本語でお願いします。
2. 数億円の施設リニューアル投資
(プールリハビリ施設=4つのリハビリプール)
 - 1) なぜ、“プールリハビリ”を導入しようとお考えになったのでしょうか。
 - 2) “プールリハビリ”システム導入期、ディケアにおける施設利用システム
(訓練 → レセプト etc.) について 説明して頂けたら幸いです。
3. “プールリハビリ”施設リニューアル後インチョン病院は何が、どう変わりましたか。
※メリット・デメリット、それぞれについて説明して頂けたら幸いです。
4. 最後に“プールリハビリ”施設リニューアル開設後、病院において問題及び課題 etc.がありましたらご説明下さい。
(a) ハード面 (b) ソフト面 (c) システム面

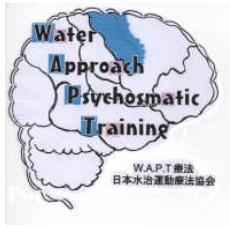
以上です。大変忙しい中、今回「シンポジウム21」イン東京にご講演頂きまして、誠に有難うございます。



ディサービス“トリアス福岡”
オーナー前本社長の“シンポジウムテーマ”です

1. プールリハビリ型ディサービス“トリアス福岡”等、奇抜なアイデアと特養施設(3施設)の安定した経営手腕が注目されてますが、その経営理念を自己紹介を兼ねてスピーチ頂けたら幸いです。
2. 平成27年4月より、現行の「要支援1、2」の制度が地方自治体に移管され、その制度上の変更が予測されます。ついては、この制度上の変更に伴う事業者が課せられる問題及び課題についてお話頂けたら幸いです。
 - 1) 予測される制度上の変更点について
 - 2) その制度上の変更に伴う問題と課題とは
 - 3) その“問題と課題”に対する対応策はあるのか
3. 最後に現在、経営されています「プールリハビリ型ディサービス“トリアス福岡”」における事業実績及び運営方法等の特徴がありましたら、お話頂ければ幸いです。
(a) ハード面 (b) ソフト面 (c) システム面

以上です。大変忙しい中、今回「シンポジウム21」イン東京にご講演頂きまして、誠に有難うございます。



NPO 法人 日本水治運動療法協会
理事長 水野 加寿

1. 2014年“シンポジウム21”の開催及び

平成26年度『水治運動療法士養成講座開設』のお知らせ

近年、日本の超高齢化社会現象は現行の社会福祉制度の崩壊をも危惧させるまでに至っております。特に高齢者福祉、医療費問題は日本のみならず先進国共通のテーマとして、国政の中心的課題となりつつあります。特に、日本における超高齢化社会現象は社会福祉制度における抜本的な変革が求められており、その特徴的な要因の一つとして「高齢者の長生き(長寿社会現象)」が顕著にみられ、自然発生的現象と捉えた社会福祉制度改革の見直しが求められます。

そこで当協会は、この「高齢者・長生き支援活動」として、健康増進事業「水中リハビリ運動」を中心に“『プールリハビリ』システム・オブ・ビジネス”の活動を具現化し、全国展開を図るとともに「高齢者対応型健康長寿地域社会づくり」に貢献したいと考えています。

2. “シンポジウムのテーマ”

今回の『“シンポジウム21”水治運動療法を考える』の開催が同協会活動10年目の節目に当たり活動の集大成として“新たな人間力の創成”をテーマに「グローバル化と社会福祉健康ビジネスモデルの育成」を実践。その“新たな人間力の創成”の具現化について。

1) “グローバル化”について

- ①スイスに本部のあるIATF (International Aquatic Therapy Faculty) に日本支部としての支部登録申請をしています。
- ②「水治運動療法士養成講座テキスト」を発売します。(＠3,800円/1冊)
- ③このテキスト発売により「水治運動療法士」の学習システムが変わり、1年制の通信教育システムが導入されます。(カリキュラム・E-ラーニング・オンデマンド etc.)
- ④ライセンス(水治運動療法士)の認定及び発行が、IATF 日本支部に変わります。

2) “社会福祉健康ビジネスモデルの育成”について

- ①ビジネスモデル：プールリハビリモデル
 - (a) メインプールリハビリモデル
 - (b) 水流プールリハビリモデル
 - (c) ケアプールリハビリ
- ②『プールリハビリ』システムオブビジネス協会の設立
(フランチャイズシステムの確立)

以 上